

謝辞

博士論文の執筆にあたり、多くの方々にご指導、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

はじめに、愛知県立大学教育福祉学部の丸山真司先生には、卒業論文、修士論文、そして博士論文と約10年間にわたりご指導いただきましたこと、心より感謝申し上げます。特に学部生の頃、研究を続けていくこと、ましてや博士論文を書くことを想像もしていなかった自分を大学院に誘っていただき、これまで辛抱強くご指導いただきました。ここまで研究を続けてこられたのは丸山先生の研究に対する姿勢や取り組み、そして何より教育者として、本当に尊敬できる先生に出会えたからだと思っております。

そして、愛知県立大学教育福祉学部の湯海鵬先生、山本理絵先生、瀬野由衣先生には、学部生の頃から現在に至るまで授業や論文指導でたくさんのご助言をいただきました。また、松宮朝先生には修士論文、博士論文でデータ分析をするにあたり、統計について何もわからなかった自分に対して、初歩的なことから懇切丁寧に指導いただきましたこと、心より感謝申し上げます。

愛知大学の村瀬智彦先生には、ご多忙の中、外部審査員をお引き受けいただき、幾度となく丁寧に指導いただきました。特に研究方法や分析方法について専門的なご助言をいただきましたこと、深く感謝いたしております。博士論文が完成したのはこのような先生方のご指導があってこそだと思っております。本当にありがとうございます。

そして、実験にご協力をいただきました幼稚園の園長先生および先生方、また、園児の皆さん、保護者の皆様に心より感謝申し上げます。特に幼稚園においては、課業内にも関わらずお時間をとっていただき、実験にご協力いただきました。皆様のご協力があったからこそ、これまでの研究をまとめることができました。本当にありがとうございます。

愛知県立大学客員共同研究員のガライ・ガルシア・アレキサンデルさんには、大学院の頃から実験や論文執筆においてもたくさんの協力や助言をいただきました。そして、愛知県立大学教育福祉学部教育発達学科の学生の皆さんには、実験をするにあたり現場スタッフとして協力していただきました。心より感謝申し上げます。

そして研究をすることを理解していただいた職場スタッフの方々にも感謝申し上げます。

このようにたくさんの方のご協力や支えがあり、自分の研究は成り立っていると改めて実感しております。本当にありがとうございます。

そして、何より今日まで研究を続けることができたのも、どんな時も協力を惜しまず、支えてくれた家族のおかげです。感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとう。

まだまだ研究のスタートラインに立ったばかり。これからも頑張ります。

2018年3月

加納 裕久